

# 疲労とお茶の科学

## —ヘルスケア分野における 新たなビジネス創出に向けて

平成28年/ **2/4** **木** 13:30~17:10  
受付・開場13:00~

### 京都大学国際科学イノベーション棟 5階 シンポジウムホール

(京都市左京区吉田本町 京都大学吉田キャンパス本部構内)

京都市及び公益財団法人京都高度技術研究所では、京都大学内に設置した「京都市ライフイノベーション創出支援センター」を中心に、ライフサイエンス分野の研究開発支援、産学公連携事業、販路開拓支援等を展開しています。平成27年5月には、京都大学国際科学イノベーション棟内に、同センター支所を新たに開設し、特に「健康・福祉・介護」分野における支援の拡充を図っています。

この度、健康（ヘルスケア）分野における新事業創出に向けて、疲労とお茶の科学、更には平成27年4月から新たに始まった機能性表示食品制度等について御講演をいただくシンポジウムを下記のとおり開催します。



定員200名  
(先着順)  
参加無料

申込みは **WEB** または **FAX** で

詳細は裏面をご覧ください。 **申込締切 1月29日[金]**

↓URL

<http://www.astem.or.jp/business/coordination/medical/symposium20160204>

↓FAX

**075-762-0071** 裏面申込書にご記入のうえ、送信してください。

↓お問合せ

公益財団法人京都高度技術研究所 産学公連携事業本部  
京都市ライフイノベーション創出支援センター

TEL:075-762-0070 FAX:075-762-0071

E-mail: [ikouyaku@astem.or.jp](mailto:ikouyaku@astem.or.jp)

URL: <http://www.astem.or.jp/business/coordination/medical>



#### 座長

(公財) 京都高度技術研究所  
京都市ライフイノベーション創出支援センター支所長  
岩田 博夫 氏

#### プログラム

13:30 開会

13:40 講演①「**疲れの科学とお茶**」

国立研究開発法人理化学研究所  
ライフサイエンス技術基盤センター センター長  
渡辺 恭良 氏

14:40 <休憩10分>

14:50 講演②「**新たな機能性表示制度と機能性農産物の開発**」

国立研究開発法人 農研機構 食品総合研究所  
山本(前田) 万里 氏

16:20 <休憩10分>

16:30 講演③「**茶事と健康**」

公益財団法人 有斐斎弘道館 代表理事  
太田 宗達 氏

17:10 閉会

主催 京都市／公益財団法人京都高度技術研究所

後援 経済産業省近畿経済産業局／京都府／京都商工会議所／公益社団法人京都工業会  
京都大学産官学連携本部／NPO法人近畿バイオインダストリー振興会議  
京都産学公連携機構／京都産業育成コンソーシアム(順序不同、予定を含む)

# 疲労とお茶の科学

## ーヘルスケア分野における新たなビジネス創出に向けて

### 講演①

#### 疲れの科学とお茶

国立研究開発法人理化学研究所ライフサイエンス技術基盤センター センター長  
 公立大学法人大阪市立大学健康科学イノベーションセンター 所長  
 公立大学法人大阪市立大学大学院医学研究科システム神経科学 特任教授  
 渡辺 恭良 氏

国民の40%近くが半年以上持続する疲労(慢性疲労)で苦しんでいるにも関わらず、これまで、「疲労・慢性疲労」に対する本格的な医学・科学の取組は少なかった。慢性疲労は、日常生活における様々なストレスの延長線上にあり、未病の最たるものである。本講演では、疲労・慢性疲労のメカニズムについて最新の研究成果を解説し、よりよい疲労回復法や過労予防法について演者らが取り組んでいる「健康科学イノベーション」の立場から、お茶の成分をはじめいくつかの抗疲労の試みについて述べる。

### 講演②

#### 新たな機能性表示制度と機能性農産物の開発

国立研究開発法人 農研機構 食品総合研究所  
 山本(前田) 万里 氏

平成27年4月から施行された機能性表示食品制度に、抗アレルギー作用を持つ高メチル化カテキン緑茶「べにふうき」の届出を行い7月に受理された。農研機構で実施している機能性食品開発プロジェクトの進行状況、機能性農産物の開発状況や、べにふうき緑茶、温州ミカンの事例を使い、機能性表示制度のメリット、デメリットなどについて述べる。

### 講演③

#### 茶事と健康

有職菓子御調進所 老松 主人、茶人、工学博士  
 公益財団法人 有斐斎弘道館 代表理事  
 同志社大学特別講師、立命館大学非常勤講師  
 太田 宗達 氏

世界に通用する日本の「おもてなし文化」を代表する茶事に焦点をあて、ヘルスケア分野の新事業展開におけるヒントにもつながる、茶事における顧客との関係性や共感を生む価値創造活動をご紹介します。医療とビジネスの両面から、茶の湯の本質と歴史について述べる。

## 申込方法

申込締切 平成28年1月29日(金)

WEB申込フォームより必要事項をご入力の上、お申し込みください。FAXにて申込みされる場合は、下記申込書に必要事項をご記入の上、個人情報の提供に同意の旨を明記して、下記FAX番号へお申し込みください。

申込先 ▶ (公財)京都高度技術研究所 産学公連携事業本部 京都市ライフイノベーション創出支援センター

URL: <http://www.astem.or.jp/business/coordination/medical/symposium20160204>

FAX: 075-762-0071

※定員になり次第締切らせていただきます。

※申込みいただいた方にご連絡はいたしませんので、直接会場へお越しください。また、参加証の発行はいたしません。定員の都合上ご参加いただけない場合のみご連絡させていただきます。

当センターでは、医療関係の公的支援プログラムをはじめ医・工・薬に関する様々な情報をメールマガジンで配信しています。ご登録はこちらのHPまで。

<http://www.astem.or.jp/business/coordination/medical/bmpnetmm>

フリガナ		TEL/FAX	
お名前		E-mail アドレス	
ご所属 (企業、大学、機関等)			
部署・役職			

### 事務局における個人情報の取扱いについて

FAX申込書において知り得た個人情報は、以下のとおり取扱わせていただきます。

下記「個人情報の取扱いについて」を確認し、同意のうえ申込みます。

同意する (チェック  をお願いします。)

#### 1. 個人情報の利用目的

本申込書にご記入いただきました貴殿の個人情報は、主催者で管理させていただきます。本イベントの運営にかかわる資料の作成、当事務局からのご連絡、及び今後当財団が主催、共催または後援する催事のご案内に利用させていただきます。

#### 2. 個人情報の提供について

本事業は、京都市の委託事業であり、事業実施報告のため、ご氏名・ご所属等を京都市に提供することがあります。

#### 3. 個人情報の委託について

第三者に貴殿の個人情報を委託することはありません。

#### 4. 通知、開示、訂正、利用停止、削除をご希望の場合

提供いただきました個人情報に関して、利用目的の通知、開示、訂正、利用停止、削除を希望される場合には、ご利用者本人の要求であることを確認したうえで、所定の手続により、合理的な期間および範囲で通知、開示、訂正、利用停止、削除を行います。6の問合せ先へご連絡ください。

#### 5. 個人情報を記入するにあたっての注意事項

ご記入いただく項目に不足がある場合は、本イベントへの参加をお断りする場合があります。

#### 6. 個人情報保護管理者と問合せ先

<事業者の名称> 公益財団法人京都高度技術研究所

<個人情報保護管理者> 総務部長

<窓口> 総務部

所在:京都市下京区中堂寺南町134番地

TEL:075-315-3625(代) / FAX:075-315-3614

URL: <http://www.astem.or.jp>

※電話受付時間は、平日(月～金※祝祭日を除く)9:00～17:00まで。

※財団の個人情報保護方針の詳細は、

<http://www.astem.or.jp/privacypolicy> でご確認ください。